

# 適切な救急病院の利用を!

## ～四国中央市の救急医療現場では～

全国的に**医師不足**が問題となっていますが、四国中央市でも、特に**病院勤務医師不足**が深刻な問題となっています。

また、近年「**昼間は仕事で行けないから**」、「**夜の方が空いているから**」などの理由で、軽い症状でも、休日・夜間に平日と同じような感覚で**安易**に救急外来を受診する方が増えています。

四国中央市の二次救急病院の救急患者受入状況では、入院を必要としない軽症者の割合が**約80%**となっています。

(平成23年11月救急患者受入実態調査より)

その結果、二次救急病院本来の役割である重症患者への対応等に支障をきたしています。また、**病院の医師やスタッフが疲弊し**、地域の救急医療体制が**維持できなくなる**恐れもあります。

そうならないためには、「**医療機関等を適正に利用する**」という市民一人ひとりの心がけと**協力が必要です**。

できるだけ診療時間内に  
受診しましょう



診療には、医師以外にも検査技師・薬剤師・看護師など多くのスタッフが必要であり、できるだけこれらのスタッフがそろっている**平日の昼間(通常の診療時間帯)**に受診するようにしましょう。

## ～四国中央市の救急医療体制～

救急医療は、症状の軽い順から**初期救急**、**二次救急**、**三次救急**と三つの体制に区分されています。

